

ドイツ留学フェアを開催



トイカ所長によるドイツ留学の紹介

説明会の冒頭では、トイカ所長より古い歴史と共に幅広い学問・研究分野を有するドイツの大学への留学のメリットが具体的に紹介されました。

本学においては、10月からの新学期に約20名の交換留学生在がドイツの各協定校から来日し、ドイツとの学生交流が一段と活発に行われています。



留学フェア会場の様子

(ドイツ留学を希望する筑波大生への Q&A)

相澤啓一ボンオフィス所長の HP より

<http://www.germanistik.jp/austausch/frageundantwort.html>

2014年10月22日(水)に、筑波大学学生センターコモンズにおいてドイツ留学フェアを開催しました。

今回の留学フェアは、10月から新しく DAAD (ドイツ学術交流会) 東京事務所所長に就任されたウルズラ・トイカ博士を迎えて実施されました。当日は、ドイツ人留学生、留学を考える日本人学生など、全体で約70名を超える参加者があり、大盛況となりました。



ドイツ人留学生の母校紹介の様子

今回は、ベルリン自由大学、ボン大学、ハレ大学、ケルン大学からの留学生たちが、各自の母校への留学の魅力について、日本語で熱心にアピールしました。

その後、留学経験者の日本人学生達が授業内容、宿舎での生活などの体験談を交えて、留学の成果を説明しました。

フェアの後には、交流会が開かれ、留学を検討中の日本人学生がドイツ人留学生に直接質問し、話を聞く姿が多く見られました。今回の留学フェアにより、ドイツ留学の魅力を効果的に PR することができました。